

令和 7 年 度

事 業 報 告 書

学 校 法 人 清 水 国 際 学 園

## 目 次

|                        |    |
|------------------------|----|
| はじめに                   | 1  |
| I 法人の概要                | 2  |
| 沿 革                    | 4  |
| 令和7年度校務分掌組織図、委員会       | 5  |
| 設置する学校・学科、役員・教職員の概要    | 6  |
| II 令和7年度事業報告           | 7  |
| 令和7年度決算について            | 9  |
| III 財務の概要（令和7年度決算付属資料） | 16 |

## は じ め に

令和7年度の事業報告書が出来ましたので、令和7年度の事業内容及び決算内容についてご報告させていただきます。令和7年度は全校生徒数427名でスタートしました。（昨年度は451名でしたので24名の減です。）生徒の動きに関しては4月7日の入学式に始まり、年を明けて3年生は2月28日の卒業式、1・2年生は3月18日の終業式で終わりました。新校舎建設及び既存校舎の耐震改修から13年経過し、什器備品だけでなく校舎についても少しずつではありますが補修工事が必要となってきました。建物関係では教室の全熱交換型換気扇を2教室分更新しました。備品関係では、生徒や教職員が使用しているパソコンのOSであるWindows10のサポートが今年の10月14日で終了となったため教員用のノートパソコンについては65台新規購入し、パソコン室の生徒用パソコン80台についてはOSの更新をしました。パソコン室にあるプリンター6台も更新しました。また、OSの更新に伴いパソコン用ソフトも新規購入しました。また、ITビジネス科が使用している別館内にある実践室の机と椅子も更新しました。

何かとあわただしいこの1年でしたが、この1年の転退学者や退学者は27名おりました。前年度が22名でした。在籍生徒数が減っているにもかかわらず退学者は増えています。令和8年1月に静岡県が公表した2025年度学校基本調査によると高校の生徒数は1,329人減少したにもかかわらず通信制過程は188人増加となっています。当校を目指すような中学生が最初から通信制高校に進学してしまうのがここ数年の動きです。4月に入って、静岡市では市内の市立高校2校を3年後に閉校し、新たに中高一貫の学校を作ると発表がありました。また、4月からは中学校の時に不登校であった生徒も対象とする私立高校も新たに開校しました。少子化が進む中で、高校をめぐる動きが加速してきています。当校の教職員には危機意識を常に持ちながら、清水国際高校に来た生徒に対し、きめ細やかな指導行ない進学や就職につなげてもらいたいと思っています。そのための環境づくりに全力で取り組んでまいりますので、理事・評議員の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

## I. 法人の概要

### 1. 基本情報

- ①法人の名称 学校法人清水国際学園
- ②住所 静岡県静岡市清水区天神一丁目4番1号
- ③電話番号等 TEL054-366-4155 Fax054-365-9137
- ④HP: <https://www.shimizu-kokusai.ac.jp>
- ⑤Email [main@shimizu-kokusai.ac.jp](mailto:main@shimizu-kokusai.ac.jp)

### 2. 本校の目的

本校は、教育基本法及び学校教育法にもとづき、生徒に高等普通教育及び専門教育を施し、キリスト教教義による人格の完成をはかり、平和的な国家および社会の一員として、真理と正義を愛し、勤労と責任を重んじ、協和の精神に満ち、平和と人類福祉に貢献する人間性豊かな国際人を育てることを目的としている。

### 3. 教育の方針

本校は昭和8年（1933）、故市毛金太郎先生ならびに故市毛道先生によって設立された清水裁縫女学校、清水商業女学校が前身である。創立者の信仰がやがて昭和24年キリスト教学校教育同盟への加盟を実現し、以来キリスト教の教義を基にして教育を行ってきているものである。したがって、一般の学校では見られない宗教的情操を養い、宗教的信念の確立を目指している。

そのため、本校では一貫した教育方針により、教育基本法にのっとり、人格の完成を目指し、平和な国家および社会の有為な形成者として、自主的精神にみちた、心身ともに健全な国民の育成を期している。さらに建学の精神に基づき、長年の伝統と使命によって、豊かな情操と徳性を培うことを特に強調している。最後に、キリストの「隣人を自分のように愛しなさい。」という教えを身につけ、語学力を向上させ、国際社会で活躍できる人間を教育することを方針としている。

### 4. 校訓の意味

しせい いっしょう きんろう だひじょう ぎょうわばんぜんをきす  
「至誠貫一生 勤労当百事 協和期万全」の校訓は、学校生活はもちろん、社会人となっても真摯な態度でことに当たり、誠実に生きることを求めると共に、勤勉さを美德とし、すべてに全力をあげて打ち込むことを教えている。そして社会に生きる時に、自己の本領を失わずに、他と協調して、正しい生活が送れるようにせよ、というものである。これは、神の恩恵によって尊い人生を稟<sup>う</sup>け、恩愛深い父母のもとで成長し、現代の文化を享受しながら、社会に連帯していく青年が、いかに努力すべきかの指針を与えたものであり、細川潤次郎氏の賛撰した名句を初代校長市毛金太郎氏が感銘をうけてあえて制定したものである。

## 5. 校章の意味

中央上の十字架は、本校が、神様の導きのもとに進む学校であることを示している。

地球は、国際社会をイメージし、緑の大地と青い海、コバルトの空が輝くこの美しい地球の平和と環境を守り21世紀の国際社会で活躍できる人材の育成を目指す学校であることを意味している。

また、本校は、清らかな富士山を仰ぎ見る清水の地にあるので、左右の曲線と白抜きで、美しい富士山と白い雪を表現した。生徒が、富士山のように、清く大きく成長するようにとの願いが込められている。

## 6. 校歌の意味

校歌には、本校の校訓の三本柱である「至誠・勤労・協和」が、またこの郷土清水の美しい風景である「富士の峰」「駿河湾」「三保の松」が読み込まれている。

作詞は、初代校長市毛金太郎氏の後輩にあたり、「ぎんぎんぎらぎら夕日がしずむ」の作詞者である葛原<sup>くず はら</sup>しげる氏、作曲は童謡作曲家で著名な弘田竜太郎氏で、正式に完成したのは、昭和15年である。

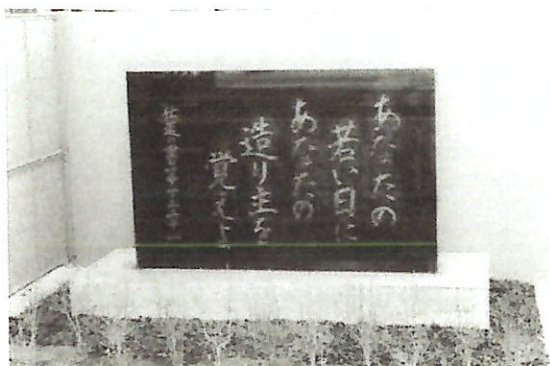
## 7. 歴史を刻む校庭の石碑



校訓の碑

「至誠貫一生 勤労当百事 協和期万全」

昭和50年(1975)度卒業生が卒業記念に建てた。前年度には創立40周年の式典が挙行された。校訓の字は初代校長市毛金太郎先生が昭和36年に書かれたもの。



聖句の碑

「あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ」

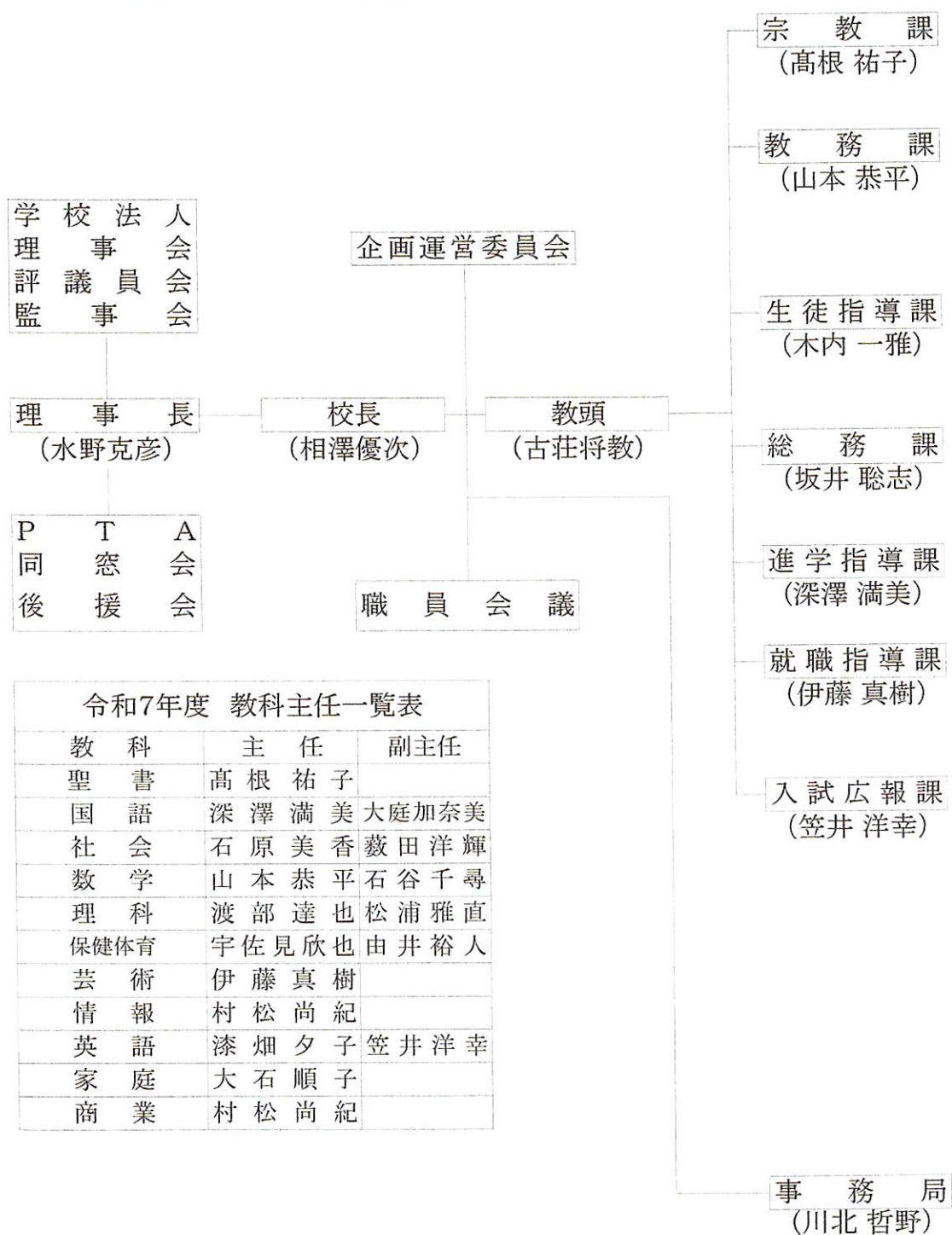
市毛金太郎先生が本校の設立にあたって思い願った聖句で、現在は「コヘレトの言葉 12章1節」に「若き日に、あなたの造り主を心に刻め」と訳されている。

碑は昭和59年(1984)の秋に、創立50周年を記念し、全能なる神様の豊かなお恵みとお導きにより、学園に学ぶ生徒が喜びと希望と感謝に満ちた日々を過ごすことを祈って建てられた。

## 8. 沿 革

- 昭和 8. 10. 1 清水裁縫女学校設立を認可された。
11. 5 清水商業女学校設立を認可された。
9. 4. 5 市毛金太郎氏 初代校長に就任。  
清水商業女学校・清水裁縫女学校第1回入学式を挙る。
10. 4. 30 文部大臣の許可を受けて、清水女子商業学校と改称。  
以後、この日を開校記念日とする。
18. 3. 22 財団法人市毛学園の設立を許可された。
4. 2 中学校令の改正により、前記2校併合し、清水女子商業高校となった。
22. 4. 5 新学制に基づいて、清水女子中学校を設置。
23. 4. 5 清水女子商業学校の組織を変更し、新学制による清水女子高等学校を設立。
24. 10. 30 日本キリスト教学校教育同盟に加盟。
25. 12. 7 学校法人清水女子学園の設立を認可された。
44. 10. 17 市毛金太郎校長 92歳をもって召天された。
44. 10. 23 市毛陽二郎氏 校長に就任。（至 平成12年3月31日まで）
8. 7 市毛陽二郎氏 理事長に就任。（至 平成15年10月8日まで）
- 平成 6. 4. 1 学校法人清水国際学園 清水国際高等学校・清水国際中学校に改称。  
高校を共学制とする。
10. 4. 1 清水国際中学校も共学制実施。
12. 4. 1 市毛陽二郎氏 学園長に就任。牧野彰夫氏 校長に就任（同年5月18日退任）
12. 6. 26 山内昭二氏 校長に就任。（至 平成20年3月31日まで）
15. 10. 8 市毛陽二郎理事長・学園長 79歳をもって召天された。
11. 5 山内昭二氏 理事長に就任。（至 平成26年3月31日まで）
19. 4. 1 清水国際中学校の生徒募集停止。
20. 4. 1 湯浅邦次氏 校長に就任。（至 平成26年3月31日まで）
23. 4. 1 既設校舎の改築・耐震補強工事に着手。
25. 3. 18 本館（新築）、別館（耐震補強）、弓道場・部室（新築）、グラウンドが完成。
25. 10. 25 創立80周年記念式典及び新校舎竣工式を挙る。
26. 4. 1 湯浅邦次氏 理事長に、平等民雄氏 校長に就任。（至 令和3年3月31日まで）
- 令和 3. 4. 1 平等民雄氏 理事長兼校長に就任。（至 令和5年3月31日まで）
4. 4. 1 前田利久氏 校長に就任。（至 令和6年3月31日まで）  
情報ビジネス科をITビジネス科に改称し、共学とする。
5. 4. 1 水野克彦氏 理事長に就任。
6. 4. 1 相澤優次氏 校長に就任。
6. 8. 30 清水国際中学校廃止。

## 9. 令和7年度 校務分掌一覽表



## 10. 設置する学校・学科・入学定員・在籍生徒数

令和8年4月1日現在

| 学科名     | 学則上の定員 |     |     |     | 令和8年4月1日現在生徒数 |     |     |     | 学 級 数 |     |     |    |
|---------|--------|-----|-----|-----|---------------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|----|
|         | 1学年    | 2学年 | 3学年 | 計   | 1学年           | 2学年 | 3学年 | 計   | 1学年   | 2学年 | 3学年 | 計  |
| 普 通     |        |     |     |     | 58            | 68  | 67  | 193 |       |     |     |    |
| うち男子    | 180    | 180 | 180 | 540 | 38            | 37  | 34  | 109 | 2     | 3   | 4   | 9  |
| うち女子    |        |     |     |     | 20            | 31  | 33  | 84  |       |     |     |    |
| ITビジネス科 |        |     |     |     | 42            | 52  | 62  | 156 |       |     |     |    |
| うち男子    | 70     | 70  | 70  | 210 | 22            | 34  | 38  | 94  | 2     | 2   | 3   | 7  |
| うち女子    |        |     |     |     | 20            | 18  | 24  | 62  |       |     |     |    |
| 合 計     | 250    | 250 | 250 | 750 | 100           | 120 | 129 | 349 | 4     | 5   | 7   | 16 |
| うち男子    |        |     |     |     | 60            | 71  | 72  | 203 |       |     |     |    |
| うち女子    |        |     |     |     | 40            | 49  | 57  | 146 |       |     |     |    |

## 11. 収容定員充足率

(毎年度4月1日現在)

| 学校名      | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 清水国際高等学校 | 58.3% | 55.2% | 60.1% | 56.9% | 46.5% |

## 12. 役員・評議員・教職員の概要

理事等の数 (令和8年4月1日現在)

| 選任区分   | 定数 | 実数 | 任期 |
|--------|----|----|----|
| 校 長    | 1人 | 1人 | —  |
| 理事選任機関 | 5人 | 5人 | 4年 |
| 理 事 計  | 6人 | 6人 |    |
| 監 事    | 2人 | 2人 | 4年 |

評議員の数

| 選任区分  | 定数 | 実数 | 任期 |
|-------|----|----|----|
| 教 職 員 | 2人 | 2人 | 4年 |
| 卒 業 生 | 2人 | 2人 | 4年 |
| 学識経験者 | 3人 | 3人 | 4年 |
| 評議員計  | 7人 | 7人 |    |

教職員の概要

(令和8年4月1日現在)

| 区 分       | 男   | 女   | 計   |               |
|-----------|-----|-----|-----|---------------|
| 校 長       | 1人  |     | 1人  |               |
| 教 頭       | 1人  |     | 1人  |               |
| 教 諭       | 16人 | 8人  | 24人 |               |
| 養護教諭      |     | 1人  | 1人  | 平均年齢          |
| 常勤講師      | 4人  | 3人  | 7人  | 教員・常勤講師 41.4歳 |
| 非常勤講師     | 6人  | 8人  | 14人 |               |
| 教 員 計     | 28人 | 20人 | 48人 | 非常勤講師 62.0歳   |
| 事務職員      | 1人  | 4人  | 5人  |               |
| 実習助手(ALT) |     | 1人  | 1人  | 事務職 51.9歳     |
| スクールバス運転手 | 1人  |     | 1人  |               |
| 職 員 計     | 2人  | 5人  | 7人  |               |
| 教 職 員 計   | 30人 | 25人 | 55人 |               |

## 13. 理事選任機関の概要

- ①任務 学園の理事の選任及び解任
- ②構成員 全ての理事及び全ての評議員
- ③評議員会の意見聴取

## II. 令和7年度 事業報告

### 【1】建学の精神

「社会で自立できる人材の育成」を目標に、「至誠」「勤労」「協和」の校訓とキリスト教の「隣人愛」の精神による教育。

### 【2】目指す学校像

- (1) 生徒の多様な進路(進学・就職)に応えられる学校
- (2) 地域に信頼され、地域行事に積極的に参加するなど必要とされる学校
- (3) 広い視野に立ち、実践経験をもとに社会貢献のできる生徒を育成する学校

### 【3】目指す生徒像

- (1) 誠実な心を持ち、他者と力を合わせ助け合うことができる生徒を育てる。
  - (2) 明確な将来目標を持ち、その実現に向けて根気強く取り組む生徒を育てる。
  - (3) 自ら学ぶ意欲を持ち、積極的に知識や技能とコミュニケーション力を身に付けた生徒を育てる。
- また、基本的な生活習慣の身に付いた健康でたくましい生徒を育てる。

### 【4】本年度の重点目標

- (1) 挨拶を通じた人づくり。
- (2) 主体的な学びで、基礎学力の向上を図る。
- (3) きめ細かな進路指導で、より良い進路実現を図る。
- (4) 参加できる行事を大切に、地域交流と地域貢献を行なう。

### 【5】具体的方策

- (1) 挨拶を通じた人づくり
  - ① 挨拶の意義を考えさせる
  - ② その場にふさわしい挨拶とマナーの指導
  - ③ 学級・学年・授業・分掌・生徒会・部活動を挙げての取り組み
- (2) 主体的学びで、学力の向上を図る
  - ① 「わかる授業」「楽しい授業」「身に付く授業」の実践と ICT 機器の活用
  - ② 基礎学力の徹底、補習・講座の充実
  - ③ 探求学習による思考・判断力・表現力の伸長
  - ④ 国際交流を充実させる
- (3) きめ細かな進路指導で、より良い進路実現を図る
  - ① 1 年次から目標を持ち、進路を明確にし、段階的な指導を行なう
  - ② 個人面談を充実させ、情報共有をしながら教師間の連携を必ず行う
  - ③ 高大連携や地元企業との連携強化を図る
- (4) 積極的な地域交流を行なう
  - ① 生徒会活動・部活動を通じて、地域行事への参加、奉仕活動の実践
  - ② 授業を通じて地元商店や企業との交流、新たな実践

### 【6】その他の重点項目

- ① HP や SNS を通じ幅広く積極的な広報活動を行う
- ② 生徒が挑戦しその成果を活躍・発表することができる場を増やし、その過程を評価する
- ③ 多様な問題を抱える生徒に対応するため担任・学年主任・教頭、相談室・保健室からの情報共有と、適切な助言・指導を行う